

## Web デザイン (HTML) II

### 授業の目的

デザイン性の向上につながる効果的な C S S の利用法について、それぞれの切り口から具体例を持って実践し、各種技能として体得せしめる。テーブルによる効果的なページレイアウトの手法を身につけ、視認性、操作性ともに優れたサイト構築ができるようになる。さらにナビゲーションメニューの導入でダイレクトな操作感覚を持つインターフェイスの作成、フォームを活用した双方向性のある本格的なサイト作成が出来るようになる。

科	国際ビジネス科	教員	見原 徹哉
コース	I T ビジネスコース	教員の実務経験	×
対象	2 年次	年間単位時間	49

### 目標

#### 前期

視認性の良いサイトを作成する上で必要不可欠な余白の取り方について理解することができ、影、半透明、画像とテキストの回り込み処理等、視覚に訴える効果についても C S S で効果的な記述をすることができるようになる。また、フレックスボックスにより、レイアウトの自由度が飛躍的に高まることも体験させ、リンクの C S S を指定することにより、マウスオーバー時、訪問済みリンクの効果変更等、視認性だけでなく、ユーザーインターフェイスの向上につながる体験をさせる。

#### 後期

前期の内容を念頭に深化させ、幅、高さ、余白等 CSS のさらなる応用、詳細設定を理解することにより、より見やすく、読みやすく、使いやすいサイトを作成することができる。またテーブルの作成とテーブルをより活用した全体レイアウトへの発展、ナビゲーションメニューを使用し、操作性に統一感のあるサイトの作成、フォームによるユーザーとのインタラクティブなやりとりが可能なサイト作成まで出来るようになることを目指す。

### 授業計画

#### 前期 18 コマ

第 1 回 余白の C S S 内部余白と上下左右の内部余白を個別に指定

第 2 回 外部余白の指定

第 3 回 ボックスの CSS のまとめ

第 4 回～第 5 回 角丸、影、半透明の C S S

第 6 回 div タグと span タグ

第 7 回～第 8 回 画像の回り込み処理

第 9 回～第 10 回 フレックスボックスを使った配置

- 第 11 回 リンクの C S S
- 第 12 回 マウスオーバーと訪問済みリンクを変更
- 第 13 回～第 15 回 C S S のまとめ、ここまでの再確認
- 第 16 回 前期試験に向けて総復習
- 第 17 回 前期期末試験
- 第 18 回 前期期末試験返却・フィードバック

後期 17 コマ

- 第 1 回 表の作成、表作成の基本
- 第 2 回 見出しセル、表内に画像を配置
- 第 3 回 キャプションの配置
- 第 4 回 表の C S S 指定、セルの書式設定
- 第 5 回 グループ化とセル結合
- 第 6 回 表を活用したレイアウト
- 第 7 回～第 8 回 リストの作成と活用、マーカー指定の C S S
- 第 9 回～第 10 回 ページレイアウト、ナビゲーションメニューの作成
- 第 11 回 CSS ファイルの活用と作成手順
- 第 12 回 インラインフレームの作成とリンク先のフレーム内表示
- 第 13 回～第 14 回 フォームの作成、ラベルによる関連付け
- 第 15 回 後期試験に向けて総復習
- 第 16 回 後期期末試験
- 第 17 回 後期期末試験返却・フィードバック

授業の方法

講義、PC を使用したプログラミングと実技演習

教材

相澤裕介 (2020) 『留学生のための HTML 5 & C S S 3 ワークブック ルビ付き』 カットシステム

評価の方法

課外学習 (宿題) + 試験 + 平常点 (授業態度) = 100%

授業態度は教師の発問に対する反応など積極性と意欲、PC を使用した実技演習など授業への取り組み、参加の姿勢全般を総合的に評価する。

2023 年度

#### 授業外での学習方法

自宅に P C のある学生は実際にプログラミング演習の復習を行う。

メモ帳とブラウザがあれば再現できる内容なので環境を問わずに復習が可能である。ソースコードの入力、実行、デバッグ、各種パラメータの改変など自由に試す積極性を求める。

P C の無い学生も教科書の復習として目視でコードを追って読み解き、ロジックを理解する方法でスキルを定着させる。

#### 実務経験と授業科目の関係

## アルゴリズム・データ構造 II

### 授業の目的・概要

アルゴリズムの基礎知識に加えて、凝集度や結合度の観点を踏まえ、アプリケーション開発・運用・利用をマネジメント・評価する判断力を培う。経営者の思考を技術者へ、技術者の意見を経営者へ伝えられる、専門知識とコミュニケーション能力を身につける。

科	国際ビジネス科	教員	中村 太一
コース	IT ビジネスコース	教員の実務経験	×
対象年次	2 年次	年間単位時間	49

### 目標

#### 前期

基礎的なデータ構造について理解し、プログラミング言語「Java」を用いてアルゴリズムを記述できる。  
1 年次に比べて高度な整列アルゴリズムを理解し、考え方を説明できる。

#### 後期

凝集度・結合度の観点を踏まえて、複雑なアルゴリズムの質を評価できる。  
基礎的な競技プログラミングの問題に対して、解を出せる。  
Google スプレッドシートを用いて、フェイルセーフを備えたデータ管理システムを作ることができる。  
基本情報技術者試験「アルゴリズムとプログラミング」分野の既習範囲において、8 割の正答率を達成できる。

### 授業計画

#### 前期

- |       |                                   |
|-------|-----------------------------------|
| 第 1 週 | 1 年次の復習(流れ図/疑似言語)                 |
| 第 2 週 | 1 年次の復習(整列アルゴリズム)                 |
| 第 3 週 | 計算量<br>アルゴリズムの判断材料である計算量の概念を理解する。 |
| 第 4 週 | スタック/キュー<br>後入れ先出し/先入れ先出しを理解する    |
| 第 5 週 | 再帰                                |
| 第 6 週 | 線形リスト<br>配列のような形を理解する             |
| 第 7 週 | 循環リスト/重連結リスト<br>リンクの形を理解する        |

## 2023 年度

- 第 8 週 木構造/2 分木と 2 分探索木
- 第 9 週 ハノイの塔/エイトクイーン
- 第 10 週 シェルソート  
高度なソートアルゴリズムを知る
- 第 11 週 マージソート  
高度なソートアルゴリズムを知る
- 第 12 週 ヒープソート  
高度なソートアルゴリズムを知る
- 第 13 週 度数ソート  
高度なソートアルゴリズムを知る
- 第 14 週 カマかせ探索/ KMP 法  
文字列に対するアルゴリズムを知る
- 第 15 週 ボイヤームーア法  
文字列に対するアルゴリズムを知る
- 第 16 週 前期期末試験
- 第 17 週 前期期末試験返却・フィードバック
- 第 18 週 再試験

### 後期

- 第 1 週 凝集度①  
保守性や再利用性について考える
- 第 2 週 凝集度②  
保守性や再利用性について考える
- 第 3 週 結合度①  
保守性や再利用性について考える
- 第 4 週 結合度②  
保守性や再利用性について考える
- 第 5 週 表計算ソフトを用いたデータ管理(Google スプレッドシート)  
身近なツールを用いて簡易データベースを作成する
- 第 6 週 複数の Google スプレッドシートを使う(importrange 関数)  
便利な関数を利用する
- 第 7 週 データの意図しない上書きを防ぐ(arrayformula 関数)  
便利な関数を利用する
- 第 8 週 SQL  
データベースを利用する言語に触れる
- 第 9 週 フィルタを自動化する(query 関数)  
便利な関数を利用する
- 第 10 週 経路探索①

	学んだことを活用できる
第 1 1 週	経路探索②
	学んだことを活用できる
第 1 2 週	約数を列挙する(プログラミング演習)
	適切なアルゴリズムを構築できる
第 1 3 週	素数を列挙する(プログラミング演習)
	適切なアルゴリズムを構築できる
第 1 4 週	素因数分解(プログラミング演習)
	適切なアルゴリズムを構築できる
第 1 5 週	後期期末試験
第 1 6 週	後期期末試験返却・フィードバック
第 1 7 週	再試験

授業の方法
講義、問題演習

教材
教科書
伊東静香(2012)『アルゴリズムを、はじめよう』インプレス
参考書
柴田望洋(2020)『新・明解 Java で学ぶアルゴリズムとデータ構造』SB クリエイティブ
矢沢 久雄(2022)『身近な疑問を解いて身につける 必修アルゴリズム』日経 BP
米田 優峻(2021)『問題解決のための「アルゴリズム×数学」が基礎からしっかり身につく本』技術評論社
中山 清喬、飯田 理恵子(2022)『スッキリわかる SQL 入門 第 3 版 ドリル 256 問付き!』インプレス

評価の方法
期末試験 60%、授業態度 20%、課題学習 20%

授業外での学習方法
基本情報技術者試験過去問道場( <a href="https://www.fe-siken.com/fekakomon.php">https://www.fe-siken.com/fekakomon.php</a> )の問題を繰り返し解く。 AtCoder( <a href="https://atcoder.jp/?lang=ja">https://atcoder.jp/?lang=ja</a> )の問題を使い、アルゴリズム構築能力を高める。

実務経験と授業科目の関係

## 英語 II

### 授業の目的

多様化する日本社会において日常の生活領域で出会う国内外の身近な話題について、基礎的な英文法を踏まえて概要や要点を把握できる。

科	国際ビジネス科	教員	鈴木 大志
コース	IT ビジネスコース	教員の実務経験	×
対象年次	2 年生	年間単位時間	49

### 目標

#### 前期

- 「What」「Where」などの疑問詞を使って会話内で使用できるようになる。
- be 動詞 + Ving を用いて現在進行形を会話内で使用できるようになる。
- 自分の気持ちを、助動詞を使って説明できるようになる。
- I think (that)を用いて、自分の気持ちを説明できるようになる。

#### 後期

- 助動詞を使って、疑問文を会話内で使用できるようになる。
- 現在完了を使い肯定文・疑問文を会話内で使用できるようになる。
- 助動詞を使って否定文を会話内で使用できるようになる。
- 「agree」「disagree」などを用いて、自分の意見を説明できるようになる。

### 授業計画

#### 前期

- 第 1 週            オリエンテーション、授業説明、試験説明、アイスブレイク

2023 年度

第 2～3 週	一般動詞現在と現在進行形 The look
第 4～5 週	比較級・最上級 Characters
第 6～7 週	一般動詞過去形と過去進行形 Places
第 8～9 週	助動詞 must と have to, can と should Being human
第 10～11 週	現在完了：継続 Friends together
第 12 週	過去完了 Right or wrong?
第 13～15 週	so~that 構文 Get to work!
第 16 週	総復習
第 17 週	前期期末試験
第 18 週	前期期末試験返却・フィードバック
後期	
第 1 週	目標、評価の方法、授業外での学習方法
第 2～4 週	will/be going to を用いた未来表現 Fragile Earth
第 4～6 週	仮定法 Money, money, money
第 7～9 週	受動態 On the menu
第 9～11 週	関係代名詞 Invention
第 12～14 週	間接話法 Communicate
第 15 週	総復習
第 16 週	後期期末試験
第 17 週	後期期末試験返却・フィードバック

授業の方法

講義・演習

教材

2023 年度

『Get Ahead (Student Book) 』 『Get Ahead (Workbook) 』 OXFORD

評価の方法

期末試験 80 点+授業参加点 10 点+課外学習点 10 点 = 100 点

課外学習点は、毎週課す語彙の習得・自宅での事前学習の取り組み度合いによる。

授業外での学習方法

単元ごとの語彙、読解の予習・復習

実務経験と授業科目の関係

## キャリアデザインⅡ

### 授業の目的

自分自身を理解した上で、自分の生き方・働き方について生涯を通じて考え、職業をはじめ人生の様々な場で自分の生き方・働き方を不断にとらえ直し、設計・再設計すること

科	国際ビジネス科	教員	鈴木 大志
コース	IT ビジネスコース	教員の実務経験	○
対象年次	2 年次	年間単位時間	49

### 目標

#### 前期

- ・「働く意義・目的」を理解し、「社会の一員となり、社会の役割の一端を担う」ことを理解する
- ・自分がどういうところで働きたいか考察し、言語化できるようになる、
- ・自己理解を深め、卒業後のキャリアデザインを描くことができるようになる

#### 後期

- ・就職活動への円滑な移行ができる「リテラシー」を理解する
- ・就職活動への主体的な行動を起こせる「コンピテンシー」を理解する
- ・卒業後の進路のために、いつ、何をすればよいか計画性を身につける
- ・15 回の授業後、履歴書を作成する技能を身に付ける

### 授業計画

#### 前期

- |        |   |
|--------|---|
| 第 1 回  | introduction キャリアデザインの必要性                       |
| 第 2 回  | 日本の就労環境の変化Ⅰ（終身雇用と年功序列の崩壊）                       |
| 第 3 回  | 日本の就労環境の変化Ⅱ（成果主義と有期雇用の広がり）                      |
| 第 4 回  | 日本の就労環境の変化Ⅲ（フリーエージェント社会の到来）                     |
| 第 5 回  | キャリアデザインとエンプロイアビリティⅠ<br>(キャリアステージとキャリアサイクルについて) |
| 第 6 回  | キャリアデザインとエンプロイアビリティⅡ（エンプロイアビリティの高め方）            |
| 第 7 回  | 就職活動に向けての計画作成                                   |
| 第 8 回  | 企業/業界分析（ケーススタディ）                                |
| 第 9 回  | 企業/業界分析 業界（メーカー/商社/金融/サービス）                     |
| 第 10 回 | 企業/業界分析 業界（メーカー/商社/金融/サービス）                     |
| 第 11 回 | 企業別履歴書の作成①                                      |
| 第 12 回 | 企業別履歴書の作成②                                      |

第 13 回	デジタルトランスフォーメーションⅠ（これからの日本の産業を考える①）
第 14 回	デジタルトランスフォーメーションⅡ（DX を取り入れている企業）
第 15 回	就職基礎能力の開発Ⅰ（SPI 試験対策①）
第 16 回	前期試験対策演習
第 17 回	前期試験
第 18 回	試験返却・フィードバック
後期	
第 1 回	introduction 前期の復習と後期の進め方
第 2 回	就職基礎能力の開発Ⅱ（SPI 試験対策②）
第 3 回	就職支援ツールを使用した企業研究
第 4 回	キャリアビジョンと行動計画／文章の書き方①
第 5 回	キャリアビジョンと行動計画／文章の書き方②
第 6 回	ライフキャリアとは何か
第 7 回	個人のウェルビーイング
第 8 回	SWOT 分析
第 9 回	面接対策練習①
第 10 回	面接対策練習②
第 11 回	求人票のトピック①（企業紹介）
第 12 回	求人票のトピック②（企業紹介）
第 13 回	企業を知ろう（法律について（労基法など））/メンタルヘルスについて
第 14 回	卒業後の在留資格申請について
第 15 回	後期試験対策演習
第 16 回	後期試験
第 17 回	試験返却・フィードバック

#### 授業の方法

授業計画に従って、講義形式又はグループディスカッション、グループワークを行う。  
グループワークではアクティブラーニングの一種である「チーム基盤型学習 Team-based-learning」を行う。

#### 教材

主教材：なし

副教材：

村山昇(2018)「働き方の哲学 360 度の視点で仕事を考える」ディスカヴァー・トゥエンティワン

坪谷邦生(2020)「図解 人材マネジメント 入門 人事の基礎をゼロからおさえておきたい人のための「理論と実践」100 のツボ」ディスカヴァー・トゥエンティワン

岡 茂信(2020)「マイナビ 2022 オフィシャル就活 BOOK 内定獲得のメソッド 自己分析 適職へ導く

2023 年度

書き込み式ワークシート（マイナビオフィシャル就活 BOOK）」マイナビ出版

#### 評価の方法

学期末試験 80%、授業態度・課題等 20%

#### 授業外での学習方法

復習：毎回授業の後は、どのような事を学んだのか振り返り、最終的に自分の言葉で人に説明できるようになる。

予習：ニュースから社会情勢を積極的に予習し、自己のキャリアビジョンに基づき、就職環境の理解に努めること。

#### 実務経験と授業科目の関係

学校法人にて学生の履歴書添削や、キャリアチームとして企業へのアプローチ、学生と企業のマッチング、企業説明会開催・運営等に従事。

## 資格対策講座 II

### 授業の目的

- ・読むこと、聞くこと、話すこと、書くことの四技能ができる語彙の数を増やし、自分が話したいことを表現できるようになる
- ・上記の語彙を記憶の中からすぐに引き出し、必要に応じて活用できるようになる
- ・JLPT N2 の言語知識 40/60 点以上獲得が目標

科	国際ビジネス科	教員	河村 高之
コース	IT ビジネスコース	教員の実務経験	×
対象年次	2 年次	年間単位時間	98

### 目標

#### 前期

1. 新聞でよく使われる漢字・語彙の上記の四技能を身につけることができる
2. 漢字を音読み・訓読み両方で読めるようになる（読む能力）
3. 接頭辞・接尾辞を理解したうえで、意味を推測することができるようになる（読む能力）
4. 教員の発話を正しくシャドーイングできるようになる（聞く能力）
5. 濁音、半濁音、拗音、促音、長音、撥音、を正しく聞き取りディクテーションができるようになる（聞く・書く能力）
6. ニュースや時事問題について、学習した語彙を用いながら話ができるようになる（話す能力）

#### 後期

1. 新聞でよく使われる漢字・語彙の上記の四技能を身につけることができる
2. 漢字の音符や部首で意味を推測することができるようになる（読む・書く能力）
3. カタカナ語を正しく聞き取り、ディクテーションができるようになる（聞く・書く能力）
4. 学習した漢字語彙を使って短作文、感想文が書けるようになる（書く能力）
5. 漢字の同音異義語や同訓異字、同義語が言えるようになる（話す能力）
6. 学習した語彙と共に使用する頻度が高い動詞をあわせて覚え、語のみを覚えるだけでなく句（フレーズ）単位で言えるようになる（話す能力）

### 授業計画

#### 前期

第 1 回 オリエンテーション/静岡新聞読者投稿

第 2 回 26 課①/N 3 パワードリル第 21 回/聞き取りテスト unit24～

## 2023 年度

- 第 3 回 26 課②/N 2 パワードリル第 1 回
  - 第 4 回 26 課③/N 3 パワードリル第 22 回/聞き取りテスト
  - 第 5 回 27 課①/N 2 パワードリル第 2 回
  - 第 6 回 27 課②/N 3 パワードリル第 23 回/聞き取りテスト
  - 第 7 回 27 課③/N 2 パワードリル第 3 回
  - 第 8 回 28 課①/N 3 パワードリル第 24 回/聞き取りテスト
  - 第 9 回 28 課②/N 2 パワードリル第 4 回
  - 第 10 回 28 課③/N 3 パワードリル第 25 回/聞き取りテスト
  - 第 11 回 29 課①/N 2 パワードリル第 5 回
  - 第 12 回 29 課②/N 3 パワードリル助数詞・あいさつの表現/聞き取りテスト
  - 第 13 回 29 課③/N 2 パワードリル動詞・擬音語・擬態語
  - 第 14 回 JLPT 対策
  - 第 15 回 JLPT 対策
  - 第 16 回 JLPT 対策
  - 第 17 回 JLPT 対策
  - 第 18 回 30 課①/N 3 パワードリル第 26 回/聞き取りテスト
  - 第 19 回 30 課②/N 2 パワードリル第 6 回
  - 第 20 回 30 課③/N 3 パワードリル第 27 回/聞き取りテスト
  - 第 21 回 31 課①/N 2 パワードリル第 7 回
  - 第 22 回 31 課②/N 3 パワードリル第 28 回/聞き取りテスト
  - 第 23 回 31 課③/N 2 パワードリル第 8 回
  - 第 24 回 32 課①/N 3 パワードリル第 29 回/聞き取りテスト
  - 第 25 回 32 課②/N 2 パワードリル第 9 回
  - 第 26 回 32 課③/N 3 パワードリル第 30 回/聞き取りテスト
  - 第 27 回 33 課①/N 2 パワードリル第 10 回
  - 第 28 回 33 課②/N 3 パワードリル第 1 回/聞き取りテスト
  - 第 29 回 33 課③/N 2 パワードリルカタカナ語 (1)・カタカナ語 (2)
  - 第 30 回 期末試験復習
  - 第 31 回 前期期末本試験
  - 第 32 回 前期期末本試験
  - 第 33 回 前期期末本試験返却・フィードバック
  - 第 34 回 前期期末本試験返却・フィードバック
  - 第 35 回 前期期末再試験
  - 第 36 回 前期期末再試験
- 後期
- 第 1 回 オリエンテーション/静岡新聞読者投稿
  - 第 2 回 34 課①/N 3 パワードリル第 2 回/聞き取りテスト

- 第 3 回 34 課②/N 2 パワー drills 第 11 回
- 第 4 回 34 課③/N 3 パワー drills 第 3 回/聞き取りテスト
- 第 5 回 35 課①/N 2 パワー drills 第 12 回
- 第 6 回 35 課②/N 3 パワー drills 第 4 回/聞き取りテスト
- 第 7 回 35 課③/N 2 パワー drills 第 13 回
- 第 8 回 36 課②/N 3 パワー drills 第 5 回/聞き取りテスト
- 第 9 回 36 課③/N 2 パワー drills 第 13 回
- 第 10 回 36 課②/N 3 パワー drills 動詞 (1)・動詞 (2) /聞き取りテスト
- 第 11 回 37 課③/N 2 パワー drills 第 14 回
- 第 12 回 JLPT 対策
- 第 13 回 JLPT 対策
- 第 14 回 JLPT 対策
- 第 15 回 JLPT 対策
- 第 16 回 37 課②/N 3 パワー drills 第 7 回/聞き取りテスト
- 第 17 回 37 課③/N 2 パワー drills 第 15 回
- 第 18 回 38 課②/N 3 パワー drills 第 8 回/聞き取りテスト
- 第 19 回 38 課③/N 2 パワー drills 接続語 (1)・接続語 (2) p42-43
- 第 20 回 38 課②/N 3 パワー drills 第 9 回/聞き取りテスト
- 第 21 回 39 課③/N 2 パワー drills 第 16 回
- 第 22 回 39 課②/N 3 パワー drills 第 10 回/聞き取りテスト
- 第 23 回 39 課③/N 2 パワー drills 第 17 回
- 第 24 回 40 課②/N 3 パワー drills カタカナ語・擬音語擬態語/聞き取りテスト
- 第 25 回 40 課③/N 2 パワー drills 第 18 回
- 第 26 回 40 課②/N 3 パワー drills 第 11 回/聞き取りテスト
- 第 27 回 41 課③/N 2 パワー drills 第 19 回
- 第 28 回 41 課②/N 3 パワー drills 第 12 回/聞き取りテスト
- 第 29 回 41 課③/N 2 パワー drills 第 20 回
- 第 30 回 42 課②/N 3 パワー drills 第 5 回/聞き取りテスト
- 第 31 回 期末試験復習
- 第 32 回 後期期末本試験
- 第 33 回 後期期末本試験返却・フィードバック
- 第 34 回 後期期末再試験

授業の方法

講義、問題演習

2023 年度

教材

加納千恵子他（2015） 『[新版] BASIC KANJI BOOK -基本漢字 500- VOL.2』 凡人社  
倉品さやか（2011） 『日本語単語スピードマスター STANDARD2500』 Jリサーチ出版

評価の方法

期末試験 80%、平常点 10%、聞き取りテスト 10%

授業外での学習方法

スピードマスターから 10 問の聞き取りテストを週一回実施し、獲得点数を課外学習点として評価の 10%に充てる。

実務経験と授業科目の関係

# 情報セキュリティ

## 授業の目的

情報セキュリティに関する知識を体系的に理解し、企業や団体、個人の周辺にあふれる情報を様々な脅威から適切に守ることのできる人材になる。また、情報セキュリティ初級認定試験に合格できる知識を身につける。

科	国際ビジネス科	教員	知久 剛
コース	IT ビジネスコース	教員の実務経験	×
対象年次	2 年次	年間単位時間	49

## 目標

1. 情報セキュリティの目的や法規制についての総論について、情報セキュリティ初級認定試験の問題が解けるようになる。
2. 情報資産に対する脅威（紙媒体の利用や物理的脅威等）と対策について、情報セキュリティ初級認定試験の問題が解けるようになる。
3. 情報資産に対する脅威（コンピューター利用上の脅威等）と対策について、情報セキュリティ初級認定試験の問題が解けるようになる。
4. ソフトウェア、ハードウェア、ネットワークなどコンピューターに関する知識について、情報セキュリティ初級認定試験の問題が解けるようになる。

## 授業計画

### 前期

- |        |   |
|--------|---|
| 第 1 回  | オリエンテーション、情報セキュリティとは何か                    |
| 第 2 回  | 情報セキュリティの実施、情報セキュリティの定義                   |
| 第 3 回  | 個人情報と個人の権利一取扱いのルール、OECD 8 原則一             |
| 第 4 回  | 情報セキュリティにおける企業責任一情報セキュリティポリシー、情報セキュリティ監査一 |
| 第 5 回  | 情報セキュリティ対策一情報セキュリティマネジメントシステム一            |
| 第 6 回  | リスク対策一リスクコントロール、リスクファイナンス一                |
| 第 7 回  | 情報セキュリティに関する法規等①一情報セキュリティの関連法規、知的財産権一     |
| 第 8 回  | 情報セキュリティに関する法規等②一個人情報保護法、JIS 規格一          |
| 第 9 回  | 紙媒体の利用一紙媒体の種類・脅威・対策一                      |
| 第 10 回 | 物理的脅威・人的脅威一入退室に関する脅威・対策一                  |
| 第 11 回 | 災害・大規模障害とその対策、事業継続計画                      |
| 第 12 回 | コンピューター利用上の脅威等①一ユーザ ID・パスワード管理・脅威一        |
| 第 13 回 | コンピューター利用上の脅威等②一ユーザ ID・パスワード管理方法一         |

## 2023 年度

- 第 14 回 前期学習復習 期末試験対策
- 第 15 回 前期学習復習 期末試験対策
- 第 16 回 前期期末試験
- 第 17 回 前期期末試験返却・フィードバック
- 第 18 回 前期再試験

### 後期

- 第 1 回 前期の復習
- 第 2 回 インターネット利用上の脅威
- 第 3 回 インターネット利用上の脅威の対策
- 第 4 回 電子媒体①—電子媒体の種類—
- 第 5 回 電子媒体②—電子媒体に関する脅威—
- 第 6 回 ソフトウェア①—コンピュータの種類、数値表現とデータ表現—
- 第 7 回 ソフトウェア②—画像や音声ファイル形式、システムの処理形態—
- 第 8 回 ハードウェア①—入出力装置、入出力インターフェース—
- 第 9 回 ハードウェア②—CPU、記憶装置—
- 第 10 回 ハードウェア③—主記憶アクセス、補助記憶装置—
- 第 11 回 OS とアプリケーション
- 第 12 回 ネットワーク①—IP アドレス、サブネットワーク、プロトコル、LAN—
- 第 13 回 前期学習復習 期末試験対策
- 第 14 回 前期学習復習 期末試験対策
- 第 15 回 後期期末試験
- 第 16 回 後期期末試験返却・フィードバック
- 第 17 回 後期再試験

### 授業の方法

講義、問題演習

### 教材

講義レジュメ

### 評価の方法

期末試験 80%、平常点 20%

授業態度は、発問に対する反応や、演習への取り組みを総合的に評価する。

2023 年度

授業外での学習方法

日々のニュースを見て、企業の情報セキュリティに関する情報を集めること。

実務経験と授業科目の関係

## 情報ネットワーク II

### 授業の目的

1 年次において学習したことを念頭にさらに高度な概念、実践的な手法についても考察、探求し発展させる。ルーティングの具体的な手順と仕組み、冗長化、セキュリティの重要性と手法、IP 電話、無線 LAN の技術的な構成と現場での具体的な活用方法についても深く理解する。

科	国際ビジネス科	教員	見原 徹哉
コース	IT ビジネスコース	教員の実務経験	×
対象	2 年次	年間単位時間	49

### 目標

#### 前期

レイヤ 3 スイッチの位置付けと役割、VLAN 越え、スイッチとしてのルーティング機能（主として社内 LAN 内で使用）について理解することができる。

ルータの位置づけと役割、ルーティングプロトコル、ルーティングテーブルについて考察し、実際のルーティングがどのようなロジックで行われているのかを理解することができる。

レイヤ 3 スイッチとルータの違いについて、機能的に重なる部分があるにもかかわらず、なぜ明確な使い分けがされているのか考察し、理解することができる。

#### 後期

冗長化についてなぜ必要か、回線のみ冗長化した場合のリスク、ルータと回線の両方を冗長化した場合の利点とコスト対策について理解することができる。

セキュリティの全般の視点を養うことができる。

セキュリティを守るための方法論と具体的な手法、内部と外部の犯行と対策、ファイヤーウォールのしくみと詳細について考察、理解することができる。

ネットワーク上に音声のをせる技術と IP 電話の関連性、無線 LAN の基本構成、技術仕様、企業での活用についても理解することができる。

### 授業計画

#### 前期

第 1 回 レイヤ 3 スイッチについて

第 2 回 VLAN 越えとスイッチにおけるルーティング機能

第 3 回 ロードバランサ

第 4 回～第 5 回 スイッチの冗長化

第 6 回 ルータの位置づけと役割

第 7 回 ルータの基本原理、

## 2023 年度

- 第 8 回 ルーティングテーブルとは、  
第 9 回～第 10 回 ルーティングプロトコル、ルーティングテーブルの詳細  
第 11 回～第 12 回 異なる LAN 間の接続  
第 13 回 ルータの種類の違い  
第 14 回～第 15 回 レイヤ 3 スイッチとの違い  
第 16 回 前期試験に向けて総復習  
第 17 回 前期期末試験  
第 18 回 前期期末試験返却・フィードバック
- 後期
- 第 1 回～2 回 前期までの軽い復習、パケットフィルタリングと冗長化  
第 3 回 セキュリティとは 全般の視点  
第 4 回 外部から守るために、ファイアーウォールの詳細  
第 5 回 内部からの犯行に対して、ユーザー認証、暗号化、物理セキュリティ  
第 6 回 次世代のファイアーウォール、ファイアーウォールから U T M へ  
第 7 回 I P 電話とは、その原理と利用方法  
第 8 回～第 11 回 I P 電話の構成要素、人の声をネットワーク網へ、音声品質の確保  
第 12 回 回音声品質の劣化と遅延、圧縮率（コーデック）、やまびこ現象  
第 13 回 無線 L A N の基本構成、設置、通信規格  
第 14 回 無線 L A N のアクセスポイント、セキュリティ対策  
第 15 回 後期試験に向けて総復習  
第 16 回 後期期末試験  
第 17 回 後期期末試験返却・フィードバック

### 授業の方法

講義、P C、タブレットを使用した調べ学習と発表

### 教材

『ネットワーク超入門講座』S B クリエイティブ

### 評価の方法

期末試験 70%、授業態度 20%、課題 10%

授業態度は、教師の発問に対する反応など積極性と意欲、授業への取り組み、参加の姿勢全般を総合的に評価する。

2023 年度

授業外での学習方法

ネットワーク機器に興味を持たせ、授業での学習を活かして wifi 環境、スマートフォン購入時の技術的な側面に焦点を当てた考察をさせる。自宅にネットワーク機器のある学生は各種機器の役割と動作、その接続状況にも興味を持たせ、サービスプロバイダーからの初期設定資料などを読み解く練習をさせる。

実務経験と授業科目の関係

## ソフトウェア（C 言語, C++）II

### 授業の目的

デジタル化が進む社会において、様々な分野でソフトウェアが使用されるようになり、プログラムの基礎知識が求められることが多くなった。数多あるプログラミング言語の中でも、最も普及している C 言語/C++ についてソフトウェア I で学んだ内容を踏まえてポインタ、関数、構造体概念について実習を通して習得する。そして、これからプログラミングを学習していく基礎を作るとともに、技術者とコミュニケーションを取ることが出来る DX 人材になることを目的とする。

科	国際ビジネス科	教員	見原 徹哉
コース	IT ビジネスコース	教員の実務経験	×
対象年次	2 年次	年間単位時間	49

### 目標

#### 前期

- ・様々な形態での繰り返し処理を学び、ブロックの抜け方、ネストによる処理の構造を理解できる。
- ・配列の概念と記述の仕方を理解し、ソートや二次元配列、文字列と配列との密接な関係も理解できる。
- ・関数の機能を理解し、複雑な処理を行うコードを記述することができる。

#### 後期

- ・ポインタの基礎を学び、アドレス演算子・関節参照演算子を用いたコードを記述することができる。
- ・関数ポインタを理解し、関数を呼び出すことができる。
- ・構造体を理解して、異なる型の値をまとめることができる。
- ・ファイルを扱う基本手順を理解し、ファイルの入出力をするコードを記述することができる。

### 授業計画

#### 前期

- 第 1-2 回 for 文のネスト
- 第 3 回 ブロックを抜ける
- 第 4 回 ブロックの先頭へ戻る
- 第 5-6 回 まとめとプログラミング演習
- 第 7-8 回 配列の宣言と利用
- 第 9 回 マクロの利用
- 第 10 回 ソーティング
- 第 11 回 多次元配列
- 第 12 回 文字列と配列
- 第 13 回 まとめとプログラミング演習

## 2023 年度

- 第 14 回 関数の定義と呼び出し
- 第 15 回 引数について
- 第 16 回 前期期末試験対策
- 第 17 回 前期期末試験
- 第 18 回 前期期末試験返却・フィードバック

### 後期

- 第 1 回 戻り値について
- 第 2 回 関数形式マクロ
- 第 3 回 変数とスコープ
- 第 4 回 記憶寿命
- 第 5 回 プロトタイプ宣言
- 第 6 回 まとめとプログラミング演習
- 第 7 回 ポインタとアドレス
- 第 8 回 配列とポインタ、文字列との関係
- 第 9 回 関数ポインタ
- 第 10 回 まとめとプログラミング演習
- 第 11 回 構造体
- 第 12 回 ビットフィールド
- 第 13 回 共有体、列挙型
- 第 14 回 ファイルの入出力
- 第 15 回 前期期末試験対策
- 第 16 回 前期期末試験
- 第 17 回 前期期末試験返却・フィードバック

### 授業の方法

講義、実践演習

### 教材

やさしいC 高橋麻奈著（ソフトバンククリエイティブ株式会社）

2023 年度

#### 評価の方法

試験 70 点満点 + 授業態度点 20 点満点 + 課題 10 点満点

授業態度は教師の発問に対する反応など積極性と意欲、PC を使用した実技演習など授業への取り組み、参加の姿勢全般を総合的に評価する。

#### 授業外での学習方法

自宅に P C のある学生は実際にプログラミング演習の復習を行う。

ソースコードの入力、実行、デバッグ、各種パラメータの改変など自由に試す積極性を求める。

P C の無い学生も教科書の復習として目視でコードを追って読み解き、ロジックを理解する方法でスキルを定着させる。

#### 実務経験と授業科目の関係

## ビジネスコミュニケーション II

### 授業の目的

場面に応じた最適なコミュニケーションができ、聞き手に良い印象を得られるようになる。  
就職先で良好な人間関係を築くためのコミュニケーションができるようになる。

科	国際ビジネス科	教員	河村 高之
コース	IT ビジネスコース	教員の実務経験	×
対象年次	2 年次	年間単位時間	49

### 目標

#### 前期

1. 就職活動で役立つ丁寧語、尊敬語、謙譲語が正しく使える。
2. 中級文法を聞き分けることができる。
3. 教科書で提示された各課の目標(できること)を達成する。
4. 7月の日本語能力試験 N2 に合格することができる。

#### 後期

1. 実際に就職活動で丁寧語、尊敬語、謙譲語が問題なく使える。
2. 中級文法の使い分けが説明できる。
3. 教科書で提示された各課の目標(できること)を達成する。
4. 実際の仕事で役立つ日本語が運用できる。

### 授業計画

#### 前期

- 第1回 アイスブレイク、授業の目標、評価の提示
- 第2回 1章スタッフ募集のお知らせ①  
日本語パワードリル N3 文法第1回
- 第3回 1章スタッフ募集のお知らせ②  
日本語パワードリル N2 文法第1回
- 第4回 1章スタッフ募集のお知らせ③  
日本語パワードリル N3 文法第2回
- 第5回 2章転任のあいさつ①  
日本語パワードリル N2 文法第2回
- 第6回 2章転任のあいさつ②  
日本語パワードリル N3 文法第3回
- 第7回 JLPT 対策

- 第 8 回 JLPT 対策  
第 9 回 JLPT 対策  
第 10 回 JLPT 対策  
第 11 回 2 章転任のあいさつ③  
日本語パワードリル N2 文法第 3 回  
第 12 回 3 章ホテルの仕事①  
日本語パワードリル N3 文法第 4 回  
第 13 回 3 章ホテルの仕事②  
日本語パワードリル N2 文法第 4 回  
第 14 回 3 章ホテルの仕事③  
日本語パワードリル N3 文法第 5 回  
第 15 回復習・前期期末試験対策  
第 16 回 前期末試験  
第 17 回 前期末試験返却  
第 18 回 前期末再試験
- 

後期

- 第 1 回 アイスブレイク、授業の目標、評価の提示  
第 2 回 3 章ホテルの仕事③  
日本語パワードリル N3 文法第 5 回  
第 3 回 5 章就職活動 (1) ①  
日本語パワードリル N2 文法第 5 回  
第 4 回 5 章就職活動 (1) ②  
日本語パワードリル N3 助詞 (1)・(2)  
第 5 回 5 章就職活動 (1) ③  
日本語パワードリル N2 助詞 (1)・(2)  
第 6 回 5 章就職活動 (2) ①  
日本語パワードリル N3 文法第 6 回  
第 7 回 JLPT 対策  
第 8 回 JLPT 対策  
第 9 回 JLPT 対策  
第 10 回 JLPT 対策  
第 11 回 5 章就職活動 (2) ②  
日本語パワードリル N2 文法第 6 回  
第 12 回 5 章就職活動 (2) ③  
日本語パワードリル N3 文法第 7 回  
第 13 回 取引先で①

2023 年度

日本語パワードリル N2 文法第 7 回

第 14 回 復習・後期末試験対策

第 15 回 後期末試験

第 16 回 後期末試験返却

第 17 回 後期末再試験

授業の方法

講義、演習

教材

主教材

星野恵 ABK 公益財団法人アジア学生文化協会（2015 年）『TRY！日本語能力試験 N2 文法から伸ばす日本語』アスク出版

副教材

松浦真理子 ask（2011 年）『日本語パワードリル文法 N2/N3 文法』アスク出版

評価の方法

期末試験 80%、課題点 10%、授業態度 10%

授業態度は、発問に対する反応や、練習問題への取り組みを総合的に評価する。

授業外での学習方法

NHK NEWS WEB EASY のニュース原稿 1 本を選び直筆でノートへ書き写させ、毎週提出。その評価を課題点の基とする。

実務経験と授業科目の関係

## ビジネス表計算Ⅱ

アプリケーションソフトウェア Excel を使用し、1 年次で身につけた基礎をもとに、ビジネス事例を題材とした実習形式で必須機能を身につけ、さまざまなビジネスシーンにおける活用ができるようになる。

科	国際ビジネス科	教員	本多 和美
コース	IT ビジネスコース	教員の実務経験	○
対象年次	2 年次	年間単位時間	49

### 目標

#### 前期：

1. 用途により適切な関数を選択して使用する。
2. ユーザ定義でさまざまな表示形式を設定する。
3. ショートカットキーを駆使する。
4. 目的に合ったグラフを選択し、数値データの傾向を読み取る。
5. 日本情報処理検定協会主催の表計算検定試験を受験する。

#### 後期：

1. 膨大なデータを効率よく集計・管理し、さまざまな角度からの分析をする。
2. データの順位付け、ソート、抽出をし、データベースを活用する。
3. ビジネス事例をもとに、ビジュアルライゼーションする。
4. 日本情報処理検定協会主催の表計算検定試験を受験する。

## 授業計画

前期：

- 第1回 オリエンテーション（自己紹介、席決め）、  
授業目的・目標・評価・ホームワーク（iPad の活用方法）について、  
PC 及び周辺機器の取扱注意事項、フォルダ作成、データファイルダウンロード
- 第2回 顧客一覧表作成……情報収集したものを一覧表にまとめる、データベース、レコード、PHONETIC  
テーブルスタイル、ヘッダー、ページ設定
- 第3回 データ集計……日付の表示形式、条件付き書式、SUM/AVERAGE、伸び率、エラー値
- 第4回 データ分析……グラフの選択、作成、編集、分析、ユーザ定義
- 第5回 売上管理……データベース、RANK.EQ、集計行表示、シートの管理、昇順・降順
- 第6回 IF 関数と条件分岐、IFS 関数と複数の条件分岐、絶対参照、相対参照、端数処理
- 第7回 演習、まとめ
- 第8回 - 日本情報処理検定協会主催 表計算検定試験・スピード認定試験対策 -  
}
- 第10回 答練
- 第11回 VLOOKUP 関数・マスタ表、データの入力規則
- 第12回 演習、まとめ
- 第13回 売上予算管理……達成率や次年度の売上予算を算出する  
書式設定、表示形式、挿入、削除、結合、達成率、ROUND/ROUNDDOWN、条件付き書式
- 第14回 売価算定表（値入率計算）……仕入原価と値入率から、売価、売上高、粗利益高を算出する  
書式設定、表示形式、ユーザ定義、算術演算子、SUM/ROUND、校閲、コメント
- 第15回 月間勤務表……毎月の勤務状況を報告する勤務表を作成する、時間のマイナス表示、  
絶対参照、IF/TEXT/OR/TIME、ユーザ定義、条件付き書式、シートの保護
- 第16回 前期期末試験対策
- 第17回 前期期末試験
- 第18回 前期期末試験返却・解説

後期：

- 第1回 前期の総まとめ、後期目標の確認、後期実施予定の検定試験について
- 第2回 在庫管理表（不足発注数量計算）……不足発注数が自動的に算出されるようにする  
SUM/TODAY/IF/IFS/OR/COUNT/ROUNDUP、ユーザ定義シートの保護、グラフの選択
- 第3回 販売別機種別売上表（アウトライン グループ化）……売上年月日順に入力されている売上表のデータを、販売店、機種のグループごとに数量や売上額を集計する  
並び替え、昇順、降順、集計の設定、アウトライン
- 第4回 売上成績比較（クロス集計）……売上データから各担当者の売上数と売上額を、  
四半期ごとに集計する ピボットテーブル、編集、統合、レーダーチャート
- 第5回 出荷伝票（自動入力）……契約番号を基に出荷の詳細データがわかる出荷伝票を作成する  
名前の定義、TODAY/VLOOKUP/IF/IFNA、シートの保護、印刷範囲の設定、拡大縮小印刷
- 第6回 売上台帳……膨大なデータをあらゆる角度から集計し、体裁を整えて印刷できるようページ設定  
する テーブルに変換、デザイン、集計行、重複の削除、昇順、ページ設定、ヘッダー
- 第7回 - 日本情報処理検定協会主催 表計算検定試験・スピード認定試験対策 -  
}
- 第10回 答練
- 第11回 見積書……売買取引において発生する書類の種類と流れ、見積書の作成
- 第12回 データの入力規則（リスト、入力時メッセージ、エラーメッセージ、日本語自動切り替え）、  
表示形式、ユーザ定義、SUM/INT/VLOOKUP、ページレイアウト
- 第13回 請求書（マクロ）……見積書・納品書を流用して請求書を作成する、シートの参照
- 第14回 マクロ、フォームコントロール、リセット、印刷、マクロ有効ブック
- 第15回 後期期末試験対策
- 第16回 後期期末試験
- 第17回 後期期末試験返却・解説

### 授業の方法

講義（必ず前回の振り返りを行う）→ ハンズオン（演習）→ まとめと振り返り。  
単元ごとにミニテストを配信。学生は学校貸与の iPad を使用し、スキルチェックを行い、弱点を克服する。  
スキル不足の学生については、授業外の学習方法についても見直しを図る。

### 教材

教材：

1. 著者：富士通エフ・オー・エム株式会社（2020）  
『Microsoft Word 2019 & Excel 2019 スキルアップ問題集 ビジネス実践編』  
出版：FOM 出版
2. 著者：山崎 紅（2020）  
『Excel 2019 ビジネス活用ドリル』  
出版：日経 BP
3. 著者：日本情報処理検定協会（2019）  
『情報処理技能検定試験（表計算）模擬問題集』3・4 級編 および 2・準 2 級編  
出版：日本情報処理検定協会

機材：

HP ノート PC、OS：Windows11、ソフトウェア：Microsoft Office365（Word・Excel・PowerPoint）、  
Adobe（Acrobat Reader）

### 評価の方法

期末試験 80%、授業態度 10%、授業外での学習 10%。  
授業態度は、取り組む姿勢や出席状況等を含み評価する。  
授業外での学習は、配信された課題へのチャレンジや iPad の活用頻度等、自主性により評価する。

### 授業外での学習方法

学校貸与の iPad を活用する。  
Google Classroom を使用して、配信された授業のまとめを振り返り、疑問点をなくす。  
授業欠席者は、ここで授業内容の確認をする。  
長期休暇中・期末試験前・検定試験前には、模擬テストや質問コーナーのトピックを設けるので  
総復習を行い、疑問点については質問コーナーのトピックで質問する。

2023 年度

実務経験と授業科目の関係

- ・ 営業事務にて、売上管理（関数・データベース）、データによる経営分析、ビジュアライゼーション等のビジネス PC 業務に携わる。
- ・ 個人事業において、売上管理・分析・データ集計等の業務を行う。

## ビジネスマナー II

### 授業の目的

日本の文化習慣による一般マナーを理解し、身につける。

日本のビジネスマナーを理解し、身につける。

日本人に好感を持たれる対応や言葉遣いを身につける。

グループワークを通して自分の役割を果たす重要性を理解し、メンバーと協力して成果を上げることを体験する。

科	国際ビジネス科	教員	梅原くみこ
コース	IT ビジネスコース	教員の実務経験	○
対象年次	2 年次	年間単位時間	49

### 目標

#### 前期

5. 就職活動に必要な立ち居振る舞いができる。
6. 敬語を適切に使うことができる。
7. 社内で円滑なコミュニケーションがとれる。
8. 適切な封筒やはがきの書き方ができる。失礼のないメールが打てる。

#### 後期

1. 『席次』を理解し、有効な位置取りができる。
2. 好感を持たれる来客対応ができる。
3. 日本の一般マナーを理解し、場に適した対応をとることができる。
4. 『内と外』を理解し、敬語の使い分けができる。
5. 『内と外』に適した電話対応ができる。

### 授業計画

前期：18 回 + 再試験

第 1 回 オリエンテーション（前期授業内容／授業の受け方／目標／評価について）

アイスブレイク

第 2 回 身だしなみ／あいさつ／おじぎ

第 3 回 入退室①

第 4 回 入退室②

第 5 回 訪問／名刺①

第 6 回 訪問／名刺②

- 第 7 回 敬語①（丁寧語）
  - 第 8 回 敬語②（尊敬語）
  - 第 9 回 敬語③（尊敬語）
  - 第 10 回 敬語④（謙讓語）
  - 第 11 回 敬語⑤（まとめ）
  - 第 12 回 クッションワード／会社におけるコミュニケーション①（依頼する）
  - 第 13 回 会社におけるコミュニケーション②（指示を受ける／相づち）
  - 第 14 回 封筒／はがき①
  - 第 15 回 封筒／はがき②
  - 第 16 回 前期のまとめ
  - 第 17 回 前期期末試験
  - 第 18 回 前期期末試験返却・フィードバック
- 後期：17 回 + 再試験
- 第 1 回 オリエンテーション（後期授業内容／目標／評価について）  
アイスブレイク
  - 第 2 回 ビジネスメール
  - 第 3 回 席次①（目上目下）
  - 第 4 回 席次②（上座下座）
  - 第 5 回 来客応対①（基礎知識）
  - 第 6 回 来客応対②（案内）
  - 第 7 回 来客応対③（お茶）
  - 第 8 回 日本人との付き合い①（一般マナー：食事の席／冠婚葬祭）
  - 第 9 回 日本人との付き合い②（ビジネスマナー：共用部分／備品／報連相）
  - 第 10 回 敬語発展①（復習）
  - 第 11 回 敬語発展②（使い分け）
  - 第 12 回 敬語発展③（ビジネスでの使い分け）
  - 第 13 回 電話応対①（マナー／電話を掛ける／電話を受ける）
  - 第 14 回 電話応対②（取り次ぐ）
  - 第 15 回 社会人としての心構え、出会いと別れの挨拶（初出勤時／アルバイト退職時）  
後期のまとめ
  - 第 16 回 後期期末試験
  - 第 17 回 後期期末試験返却・フィードバック

#### 授業の方法

講義、画像・動画視聴、問題演習、発話練習、グループワーク

## 教材

### 参考教材

- 武田聡子・長崎清美（2020）『留学生・日本で働く人のためのビジネスマナーとルール』  
日本能率協会マネジメントセンター
- 小川誉子美・前田直子（2019）『日本語文法演習 敬語を中心とした対人関係の表現-待遇表現-』  
スリーエーネットワーク
- 松本節子（2022）『初級から超級まで STEP 式にほんご練習帳 敬語』株式会社ユニコム
- 三吉礼子・矢野清美（2004）『あなたの日本語に磨きをかける 敬語（初・中・上級）』専門教育出版

### 使用機材

プロジェクター、タブレット端末

## 評価の方法

期末試験 80%、授業態度 12%、課題 8%

期末試験はペーパーテストを実施する。授業態度は、授業・グループワークへの取り組みを総合的に評価する。

## 授業外での学習方法

仕事でよく使用する語彙と漢字の課題（プリント・タブレット端末）

## 実務経験と授業科目の関係

商品や接客に関する研修業務に従事。

## ビジネスリーディングⅡ

### 授業の目的

日本語能力試験（JLPT）N2 合格のための読解力を身につける。やさしい内容のビジネス文書やメールの内容を理解するための表現や語彙を学ぶ。

科	国際ビジネス科	教員	佐野 邦治
コース	IT ビジネスコース	教員の実務経験	×
対象年次	2 年次	年間単位時間	49

### 目標

1 年次に学習したリーディングのストラテジーを実践し文章の重要な部分を特定できる。  
幅広い話題について書かれた新聞や雑誌の記事・解説、やさしい評論などの内容を読みとることができる。  
ビジネスで使う表現や語彙を理解しやさしい内容のビジネスメールを読みとることができる。

### 授業計画

#### 前期

- 1 年次にビジネスリーディング学習したリーディングのストラテジーの復習。
- JLPT を意識したリーディングストラテジーの実践
  - 文の構成を理解する
  - 指示語が指す物を見つける
  - 筆者の意見を見つける
- JLPT 対策
  - 読解出題パターン別攻略法を身に付ける
  - 聴解出題パターン別攻略法を身に付ける

第 1 回	オリエンテーション/リーディングストラテジー復習
第 2 回	内容を素早く理解するストラテジー①
第 3 回	内容を素早く理解するストラテジー②
第 4 回	文章の話題を見抜くストラテジー
第 5 回	内容理解 短文①
第 6 回	内容理解 短文②
第 7 回	内容理解 中文①
第 8 回	内容理解 中文②
第 9 回	内容理解 長文① / JLPT 対策聴解 課題理解
第 10 回	内容理解 長文② / JLPT 対策聴解 ポイント理解

2023 年度

- 第 11 回 情報検索① / JLPT 対策聴解 概要理解
- 第 12 回 情報検索② / JLPT 対策聴解 発話理解
- 第 13 回 情報検索③ / JLPT 対策聴解 統合理解
- 第 14 回 内容理解 長文③
- 第 15 回 前期学習復習 期末試験対策
- 第 16 回 前期期末試験
- 第 17 回 期末試験返却/フィードバック
- 第 18 回 前期再試験

後期

1. JLPT を意識したリーディングストラテジーの実践

- 1) 文の構成を理解する
- 2) 指示語が指す物を見つける
- 3) 筆者の意見を見つける

2. JLPT 対策

- 1) 読解出題パターン別攻略法を身に付ける
- 2) 聴解出題パターン別攻略法を身に付ける

3. ビジネスの場で使われる日本語

- 1) ビジネスシーンで使うメール文章の読解練習

- 第 1 回 内容理解 短文①
- 第 2 回 内容理解 短文②
- 第 3 回 内容理解 中文①
- 第 4 回 内容理解 中文② / JLPT 対策聴解 課題理解
- 第 5 回 内容理解 長文① / JLPT 対策聴解 ポイント理解
- 第 6 回 内容理解 長文② / JLPT 対策聴解 概要理解
- 第 7 回 情報検索① / JLPT 対策聴解 発話理解
- 第 8 回 情報検索② / JLPT 対策聴解 統合理解
- 第 9 回 模擬試験 読解
- 第 10 回 ビジネスメール①基本の書式 p 82
- 第 11 回 ビジネスメール②連絡、お礼 p 90/ p 91
- 第 12 回 ビジネスメール③新商品の案内、在庫問い合わせの回答 p 92/ p 93
- 第 13 回 後期学習復習 期末試験対策
- 第 14 回 後期学習復習 期末試験対策
- 第 15 回 後期期末試験
- 第 16 回 期末試験返却/フィードバック
- 第 17 回 後期再試験

2023 年度

授業の方法

教室での対面授業

教材

主教材

小林ひとみ・桑原里奈・木林理恵（2011）『日本語能力試験問題集N2 読解スピードマスター』 Jリサーチ出版

副教材

星野恵子・辻和子（2010）『ドリル&ドリル N2 聴解読解』 UNICOM

奥村真紀・安河内貴子（2007）『日本語ビジネス文書マニュアル』 アスク出版

評価の方法

期末試験 80%、平常点 20%

授業態度は、発問に対する反応や、練習問題への取り組みを総合的に評価する。

授業外での学習方法

JLPT 対策等、自分の能力にあった自主学習

実務経験と授業科目の関係

# プログラミング (Java) I

## 授業の目的

- ・プログラミングの知識を得て、現場、管理職、技術者の架け橋となれる人材の育成。
- ・業務へのプログラミング導入を考え、提案できる人材の育成。
- ・Java 言語の基本的な構造と文法を身につけ、ソースコードを記述して簡単なプログラムを実行できるようになる。
- ・Java™プログラミング能力認定試験 3 級に合格できる知識を身につける。

科	国際ビジネス科	教員	伊賀崎 俊朗
コース	IT ビジネスコース	教員の实务経験	○
対象年次	2 年次	年間単位時間	49

## 目標

### 前期

- ・Java プログラムが動く仕組みを理解することができる。
- ・Java 言語で演算子を用いたソースコードを記述し、コンピュータに計算をさせることができる。
- ・Java 言語で条件分岐を用いたソースコードを記述し、条件判断によって出力結果を変えるプログラムを作成することができる。
- ・配列を用い、複数のデータをまとめた構造で扱うことができる。

### 後期

- ・メソッドやクラス分割、パッケージを利用して、長く複雑になったソースコードを分かりやすく整理することができる。
- ・Java 言語の持つ特色である「オブジェクト指向」の考え方を理解する。
- ・オブジェクト指向の考えに基づき、抽象的なクラスと具体的な動作が定められたクラスを相互に利用できる。
- ・オブジェクト指向の考えに基づき、生成した複数の異なるインスタンスを大まかに同じものとしてまとめて扱うことができる。

## 授業計画

### 前期

- 第 1 回 アイスブレイク、プログラミング体験
- 第 2 回 Java のしくみ
- 第 3 回 変数とデータ型

## 2023 年度

- 第 4 回 変数とデータ型、1～4 復習
  - 第 5 回 リテラル、演算子
  - 第 6 回 命令実行の文
  - 第 7 回 制御構文
  - 第 8 回 条件式
  - 第 9 回 条件式
  - 第 10 回 制御構文のバリエーション
  - 第 11 回 5～10 復習
  - 第 12 回 拡張 for 文
  - 第 13 回 配列の仕組み
  - 第 14 回 配列
  - 第 15 回 試験対策
  - 第 16 回 前期期末本試験
  - 第 17 回 前期期末本試験返却・フィードバック
  - 第 18 回 前期期末再試験
- 後期
- 第 1 回 アイスブレイク
  - 第 2 回 多次元配列
  - 第 3 回 メソッド
  - 第 4 回 引数
  - 第 5 回 戻り値
  - 第 6 回 オーバーロード
  - 第 7 回 1～5 復習
  - 第 8 回 複数のクラス、完全限定クラス名
  - 第 9 回 パッケージ
  - 第 10 回 6～8 復習、名前空間、API
  - 第 11 回 オブジェクト指向(説明)
  - 第 12 回 クラスの定義、クラス図
  - 第 13 回 クラス型変数、インスタンスとオブジェクトのちがい
  - 第 14 回 試験対策
  - 第 15 回 後期期末試験
  - 第 16 回 後期期末試験返却・フィードバック
  - 第 17 回 後期期末再試験

### 授業の方法

講義、実践演習

2023 年度

#### 教材

- ・ 講義レジュメ
- ・ 中山清喬/国本大悟(2019)『 スッキリわかる Java 入門<第3版>』インプレス

#### 評価の方法

期末試験 70%、授業態度 20%、課題 10%

授業態度は、発問に対する反応や、演習への取り組みを総合的に評価する。

#### 授業外での学習方法

dokojava『(株式会社フレアリンクが提供する Java プログラミングサービス、ネット環境があれば PC/タブレット/スマホにて、どこでも使用可能)』

#### 実務経験と授業科目の関係

電機メーカーにて、ソフトウェア開発業務や若手の技術者教育に従事。

## プログラミング (Java) II

### 授業の目的

- ・プログラミングの知識を得て、現場、管理職、技術者の架け橋となれる人材の育成。
- ・業務へのプログラミング導入を考え、提案できる人材の育成。
- ・Java 言語の基本的な構造と文法を身につけ、ソースコードを記述して簡単なプログラムを実行できるようになる。
- ・Java™プログラミング能力認定試験 3 級に合格できる知識を身につける。

科	国際ビジネス課	教員	伊賀崎 俊朗
コース	IT ビジネスコース	教員の實務経験	○
対象年次	2 年次	年間単位時間	49

### 目標

#### 前期

- ・Java プログラムが動く仕組みを理解することができる。
- ・Java 言語で演算子を用いたソースコードを記述し、コンピュータに計算をさせることができる。
- ・Java 言語で条件分岐を用いたソースコードを記述し、条件判断によって出力結果を変えるプログラムを作成することができる。
- ・配列を用い、複数のデータをまとめた構造で扱うことができる。

#### 後期

- ・メソッドやクラス分割、パッケージを利用して、長く複雑になったソースコードを分かりやすく整理することができる。
- ・Java 言語の持つ特色である「オブジェクト指向」の考え方を理解する。
- ・オブジェクト指向の考えに基づき、抽象的なクラスと具体的な動作が定められたクラスを相互に利用できる。
- ・オブジェクト指向の考えに基づき、生成した複数の異なるインスタンスを大まかに同じものとしてまとめて扱うことができる。

### 授業計画

#### 前期

- 第 1 回 『クラス型変数と参照・引数①』
- 第 2 回 クラス型変数と参照・引数②
- 第 3 回 has-a の関係

## 2023 年度

- 第 4 回 コンストラクタ
  - 第 5 回 1~4 問題演習
  - 第 6 回 オーバーライド
  - 第 7 回 オーバーライド
  - 第 8 回 継承
  - 第 9 回 継承
  - 第 10 回 継承の禁止
  - 第 11 回 正しい継承、間違った継承
  - 第 12 回 6~11 問題演習
  - 第 13 回 抽象クラス
  - 第 14 回 インタフェース
  - 第 15 回 試験対策
  - 第 16 回 前期期末試験
  - 第 17 回 前期期末試験返却・フィードバック
  - 第 18 回 前期期末再試験
- 後期
- 第 1 回 多態性①
  - 第 2 回 多態性②
  - 第 3 回 カプセル化（アクセス制御）
  - 第 4 回 カプセル化（getter/setter）
  - 第 5 回 オブジェクト指向 まとめ
  - 第 6 回 Object クラス、文字列表現、等値と等価
  - 第 7 回 静的メンバ
  - 第 8 回 API を用いた文字列操作の一例（StringBuilder クラス）
  - 第 9 回 正規表現
  - 第 10 回 API（日付と時間）①
  - 第 11 回 API（日付と時間）②
  - 第 12 回 コレクション①
  - 第 13 回 コレクション②
  - 第 14 回 試験対策
  - 第 15 回 後期期末試験
  - 第 16 回 後期期末試験返却・フィードバック
  - 第 17 回 後期期末再試験

### 授業の方法

講義、実践演習

2023 年度

#### 教材

- ・ 講義レジュメ
- ・ 中山清喬/国本大悟(2019)『スッキリわかる Java 入門<第3版>』インプレス

#### 評価の方法

期末試験 70%、授業態度 20%、課題 10%

授業態度は、発問に対する反応や、演習への取り組みを総合的に評価する。

#### 授業外での学習方法

dokojava『(株式会社フレアリンクが提供する Java プログラミングサービス、ネット環境があれば PC/タブレット/スマホにて、どこでも使用可能)』

#### 実務経験と授業科目の関係

電機メーカーにて、ソフトウェア開発業務や若手の技術者教育に従事。